

曲想を味わい心情を思い浮かべ表現を工夫して歌おう 「HEIWA の鐘」

本題材で育成する資質・能力

人間関係形成能力・発見力・表現力

- 1 日時 平成29年10月4日(水) 5時間目
- 2 学年・学級 1年A組 男子15人 女子18人
1年B組 男子30人 女子36人 計66人
- 3 題材名 曲想を味わい心情を思い浮かべ表現を工夫して歌おう 「HEIWA の鐘」
- 4 本題材を指導するにあたって

本題材は、中学校学習指導要領解説音楽編(平成20年)の第1学年

A 表現(1) 歌唱の活動 ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。
ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

を受けて設定した。歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う力を育てる。また、[共通事項] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を扱う。

本題材で扱う「HEIWA の鐘」は、平和に対する力強いメッセージ性のある歌詞と、女声・男声による「掛け合い」部分から、歌詞と強弱の関係、曲想の変化を考えさせるのに適している教材である。また、本格的に混声三部合唱ができるようになるこの時期、歌詞に共感し、各パートが歌詞から歌い方を考えたり工夫したりすることは、今後の合唱の基礎力の育成につながると考える。

本学年の生徒は、何事にも真剣に取り組む生徒が多い。「歌うことが好きですか」という質問に対し、肯定的に答えた生徒は79%であり、歌唱に対しは意欲・関心を持つ生徒が多い。「歌詞に気持ちを込めて歌っている」や「言葉をはっきりさせて歌っている」という質問でも、肯定的に答えた生徒は86%であった。しかし、歌詞と曲想の関わりを意識し、曲を仕上げていくまでには至っていない。

これまでに、二部合唱を経験しており、音が重なることから生まれるハーモニーの楽しさ、美しさを味わうことができた。また、本校の校歌には男声と女声の「掛け合い」部分が含まれており、声部の役割を意識して歌うことも日常的にできている。しかし、歌詞の内容や曲想を手がかりに表現するまでには至っていない。

そこで、本題材で混声三部合唱に取り組むことにより、歌詞に込められた思い、声部の役割を感受し表現を工夫する力をつけさせたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- お互いの工夫、よさを取り入れ、お互いの意見交流がグループごとに行えるようにする。
- 互いの高まりを交流し、文化祭での発表をゴールに全体合唱を学年の財産にする。

【基礎基本の定着】

- (1) 習得すべき基礎・基本について
 - リズム学習
- (2) 定着の手立て
 - 姿勢・体感・体幹の共同学習⇒お腹の支え

5 題材の目標

- 歌詞の内容や楽曲に込められた心情に関心を持ち、声部の役割や全体の響き、音楽表現を工夫して

歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

【音楽への関心・意欲・態度】

○音音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【音楽表現の創意工夫】

○音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 【音楽表現の創意工夫】

○歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能（発声，言葉の発音，呼吸法，身体の使い方，読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。 【音楽表現の技能】

○声部の役割や全体の響き，言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能（発声，言葉の発音，呼吸法，身体の使い方，読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。 【音楽表現の技能】

6 評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
①歌詞の内容や楽曲に込められた心情に関心をもち，声部の役割や全体の響き，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能（発声，言葉の発音，呼吸法，身体の使い方，読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。 ②声部の役割や全体の響き言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能（発声，言葉の発音，呼吸法，身体の使い方，読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では，小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。 (◎は重点)

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)		④判断力 (自分で決める力)		⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)	◎	⑤表現力 (伝える力)	○	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	◎
③ 思考力 (考える力)		⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

② 発見力・・・ クラス同士の発表をよく聴き，お互いの良さを認め合い，学年の発表に取り入れ，高め合う態度を育てる。

⑤ 表現力・・・ よりよい合唱づくりのために一人一人が課題を見つけ，その解決に向け主体

的に取り組む態度を育てる。

- ⑧ 人間関係形成能力・・・学年の生徒一人一人が協力して合唱に取り組み、クラス・学年の連帯感、協調性を高める。

8 指導と評価の計画 (全6時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関 意 態	創 意 工 夫	技 能	鑑 賞	評価基準
1	○題材のもつ意義やねらいについて考え、目指す合唱のイメージをもつ。 パフォーマンス課題	○				アー① (観察)
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>今学期は塩町中学校の文化祭があり、みなさんは学年として合唱を披露します。たくさんのお客さんが見に来られます。来てくださったお客さんに感動してもらうためにも、「思いが伝わる歌」をテーマにどんな合唱を目指すのか考えて、学年合唱を成功させましょう。</p> </div>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を読んだり音源を聴いたりし、歌詞の持つメッセージ性について考える。 ・音取り、歌詞、音楽表現・音楽的要素を確認する。 ・積極的にパート練習し音取りをする。 ・1番を合わせる。 ・曲全体の合わせをする。 ・録音を聴き工夫改善点を考える ・歌詞の内容や言葉、強弱を意識して歌う。 ・パートに合う歌い方を意識して歌う。 ・自分達が伝えたい思いについて話し合い、全体で共有する。 <p>○音楽の構造をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各声部別に、楽譜に書かれたリズムや音程、声部の役割や関わり方などを読み取りながら歌唱する。 <p style="text-align: right;">(2時間)</p>		○			イー① (ワークシート)
2	○声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現を追求する。 ・各声部の旋律や、声部同士の重なりが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・音楽の構造と歌詞の内容との関わりを読み取り、音楽を形づくっている要素の働かせ方をどう工夫するかグループで話し合いながら歌唱し、表現を練る。 (本時・・・1 / 2時間)		○		○	イー② (行動観察) ウー① (ワークシート) (歌詞内容書き込み)

3	○表現の工夫を生かして、全体合唱する。 ・意図した通りの表現ができているか、互いに聴いて評価し合う。 ・伝える相手や本番を意識しながら、伝えたい思いが伝わる合唱を目指して曲全体の完成度を高める。 (2時間)	○				アー① (行動観察) ウー①② (ワークシート)						
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標 (ルーブリック)</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりに表現を工夫することについて具体的にワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりにワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>Bに達しない。</td> </tr> </table>					評価指標 (ルーブリック)		A	「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりに表現を工夫することについて具体的にワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。	B	「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりにワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。	C
評価指標 (ルーブリック)												
A	「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりに表現を工夫することについて具体的にワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。											
B	「思いが伝わる」合唱にするために、歌詞の内容、曲想、声部の役割を手がかりにワークシートに思いや意図を書き、歌唱している。											
C	Bに達しない。											

9 本時の展開

(1) 本時の目標

知覚、感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。

(2) 観点別評価規準

音楽の用語を用いて表現することができる。
目標を設定し、歌唱表現することができる。

(3) 準備物

楽譜、ワークシート、拡大模造紙、ミニホワイトボード、アイパッド、テレビ、CD

(4) 本時の学習展開

学習内容・活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
1 ウォーミングアップ ○リズム打ち ○前時の振り返り	○リズム唱をしながら手拍子をしよう。 ●前時の合唱を視聴させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>どのような表現をすれば相手に伝わる合唱になるか考えて歌ってみよう。</p> </div>		
2 課題設定 ○本時のめあてを知る。	●解決の見通しを持って工夫・良い点を収集させる。 ○伝わるような歌い方を見つけよう。	
○前回の録音 (クラスごと) から工夫点・改善点を出し合い共有する。		

<p>3 個人思考</p> <p>○個人で課題を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A組はB組, B組はA組の工夫点・改善点を聴き取り, 書き出させる。 ◆ どの部分を一生懸命歌いたいかなど具体的に聞き, 考えさせる。 ☆ 姿勢, 表情, 強弱に着目する。 ☆ 楽譜の中のC・Dの部分に着目する。 ☆ 歌詞のつながりから強弱に着目する。 	<p>音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成などを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら, 声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し, どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。[イ②] (ワークシート・行動観察)</p>
<p>4 集団思考</p> <p>○パートごとに課題を話し合う。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>○課題を意識して練習させる。</p> <p>○パートごとに練習する。</p> <p>○全体で合唱をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が発言できるようリーダーに声をかける。 ● 取り組みたい課題を話し合い, 決めさせる。 ☆ 歌詞がつながるためには, 呼吸の仕方を工夫してみる。 ☆ 自分のパートを歌うとき他のパートを意識して聴いてみる。 ☆ 自分のパートの歌詞を歌うとき受け渡す気持ちで歌う。 ● グループごとに意見を出させる。 ● パートの目標に応じた課題提示をさせる。 ● 1回目の演奏よりも良くなった点, さらなる改善点も発表させる。 ● 課題を意識して練習させる。 <p>○意識して見つけあったことを実際に生かして歌おう。</p>	<p>声部の役割や全体の響き言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。声部の役割や全体の響き言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。[ウー①] (ワークシート・行動観察)</p>
<p>5 学習のまとめ</p> <p>○振り返りを書く。</p> <p>○次時は文化祭の予行練習で歌うことを伝える。</p>	<p>○前時よりもうまくできた部分を多く書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本時の課題でよかったところ, できたところを中心に振り返らせ, 次の授業への意欲につなげる。 	

